

## 根室海域の定置網で漁獲されたカラフトマスの河川遡上について

### 〇はじめに

近年、日本系カラフトマス資源は減少傾向を示しており、特に根室海域では増殖事業に使用する親魚確保が困難な状況にあります。カラフトマスは資源構造やその変動要因に不明な点が多く、根室海域で行った稚魚の標識放流の回収結果から一定の母川回帰性を持つ一方で、比較的広い範囲で放流河川以外へ遡上することが明らかになっています。大きな資源変動を示すカラフトマスの資源構造を明らかにすることは、増殖事業の効果検証や適切な資源管理を進める上で極めて重要な課題です。今回は2011と2012年に定置網で漁獲された親魚の河川遡上状況について紹介します。

### 〇調査の方法

沿岸に回帰したカラフトマスの河川への移動状況を明らかにするために、小定置網で漁獲されたカラフトマス親魚に外部標識を施して放流し、根室管内のサケマス捕獲河川で標識魚の回収調査を行いました。親魚の標識放流は根室南部地区の北端に位置する野付崎地先（野付放流群）と北部地区の中間に位置する崎無異地先（崎無異放流群）で行いました（図1）。野付放流群は2012年8月25日に11尾、崎無異放流群は2011年8月26日に122尾、2012年8月10日に69尾、8月25日に129尾の背鰭基部にディスクタグ（直径12mm、ネムロと番号を標記）をビニールチューブで固定して放流しました。根室海区では河川捕獲親魚を確保するための自主休漁措置を行っており、8月10日からは5日間、8月25日、26日からは羅臼漁協を除いた全ての地区で8月末まで実施しています。標識放流は自主休漁の初日に行い、標識魚の回収は沿岸では漁業者からの再捕報告、捕獲河川では捕獲と採卵時による確認、非放流・非捕獲河川では旬1回の河川踏査により実施しました。

### 〇標識親魚の回収結果

図2の地図上に放流群ごとの回収場所と回収尾数を示しました。2011年は8月下旬の崎無異放流群のみの実施となりました。8月26日に122尾を放流した崎無異放流群は北側に位置する羅臼地区の沿岸と河川で12尾（内河川3尾）、放流地区（放流地点から2km以内）の河川で12尾、南側に位置する標津地区の河川で23尾が再捕され、根室北部地区の河川を起源とする群により構成されてい

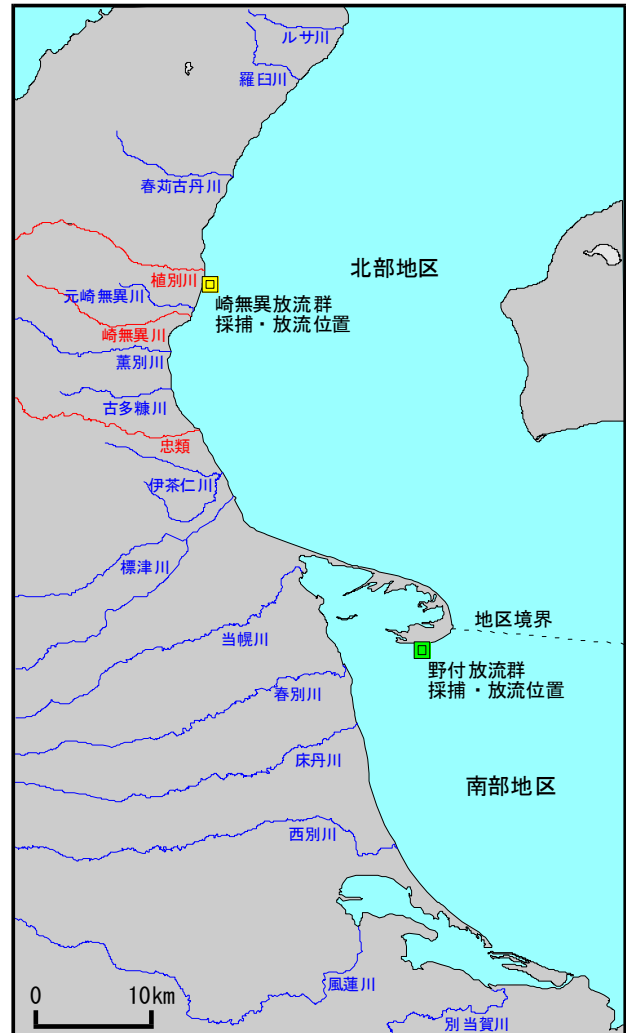


図1 カラフトマス親魚の採捕地点と放流位置

口はカラフトマス親魚の採捕および放流位置を示す

青色で示した河川はカラフトマスの放流河川、

赤色は放流を行っていない河川を示す

たと考えられました（図 2-a）。

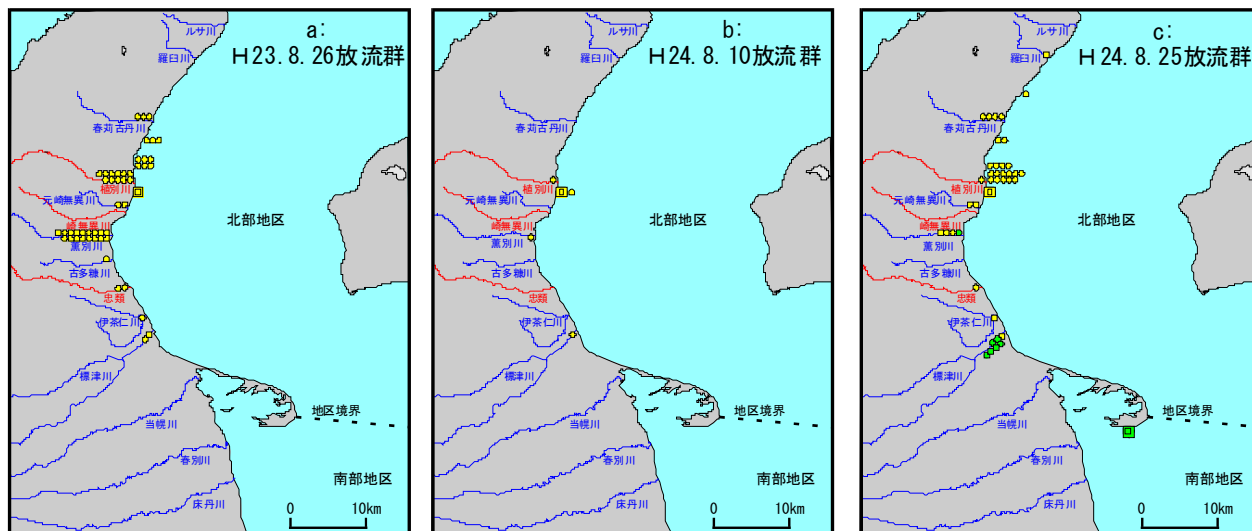


図 2 カラフトマス親魚の放流位置と回収場所

黄色の○は崎無異放流群の回収場所 緑色の○は野付放流群の回収場所を示す  
○1個は回収されたカラフトマス 1 尾を示す

2012 年は崎無異放流群では 8 月中旬と下旬の 2 回、野付放流群は 8 月下旬に 1 回の実施となりました。8 月 25 日に 11 尾を放流した野付放流群は放流場所の北側に位置する標津地区の河川で 7 尾が再捕され、根室北部地区の河川を起源とする群により構成されていたと考えられ、移動範囲は 40km 程になりました（図 2-c）。8 月 10 日に 69 尾を放流した崎無異放流群は放流地区で 2 尾（内河川 1 尾）、南側に位置する標津地区の河川で 2 尾が再捕され、放流地区から南側に位置する河川集団より構成されていたと考えられました（図 2-b）。8 月 25 日に 129 尾を放流した崎無異放流群は放流地区で 12 尾（内河川 1 尾）、北側に位置する羅臼地区で 13 尾（内河川 5 尾）、南側の標津地区の河川で 5 尾が再捕され、放流場所から南北 20km 程の範囲の河川集団により構成されていたと考えられました（図 2-c）。非放流・非捕獲河川では植別川での発見割合が高く 2011 年は 11 尾、2012 年は 1 尾の再捕でしたが、2012 年 9 月 11 日の河川踏査では 29 尾の標識魚が目視されていることから（図 3）、標識魚の中には自然産卵魚も多数含まれていたと考えられます。2 か年とも標識魚の再捕は根室海域の北部地区に限定され、根室南部地区や他の海域からの報告はありませんでした。



図 3 植別川で再捕された雄の標識魚

### ○おわりに

今回の調査で根室海域の定置網で漁獲されるカラフトマスの資源構造の一端が明らかになりました。根室海域では知床半島を源とする北部地区の河川に由来する資源割合が高く、その中には自然産卵魚（天然魚）も多く含まれていると考えられます。今回得られた情報を参考に根室海域でのカラフトマスの資源管理方策について検討を進めていきたいと考えています。また、資源の減少が著しい根室南部地区の発見がなかったことから、時期や場所を変えて調査を行いたいと思います。

（さけます・内水面水産試験場 道東支場 宮本真人）